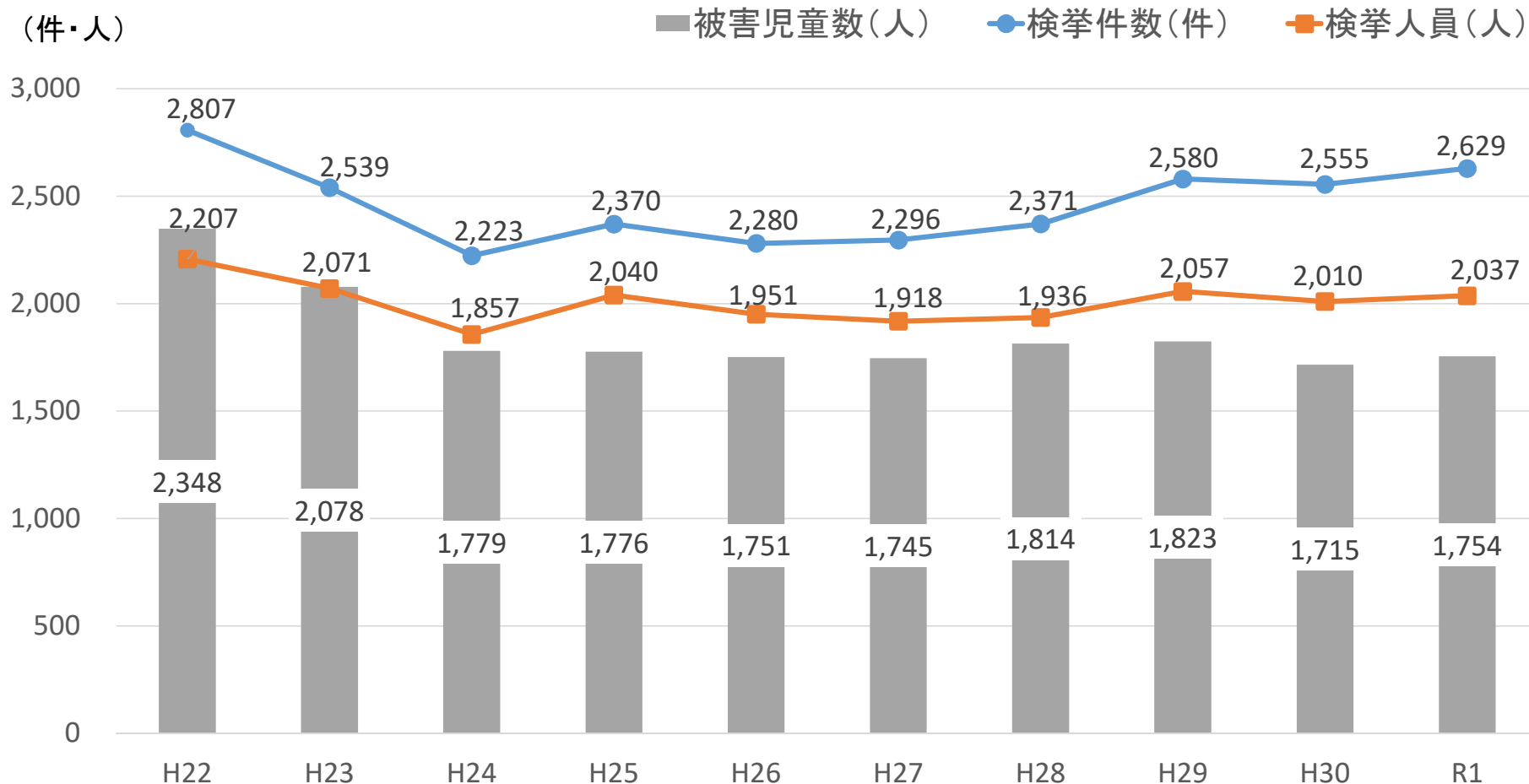


# 子供の性被害 (児童の性的搾取等)

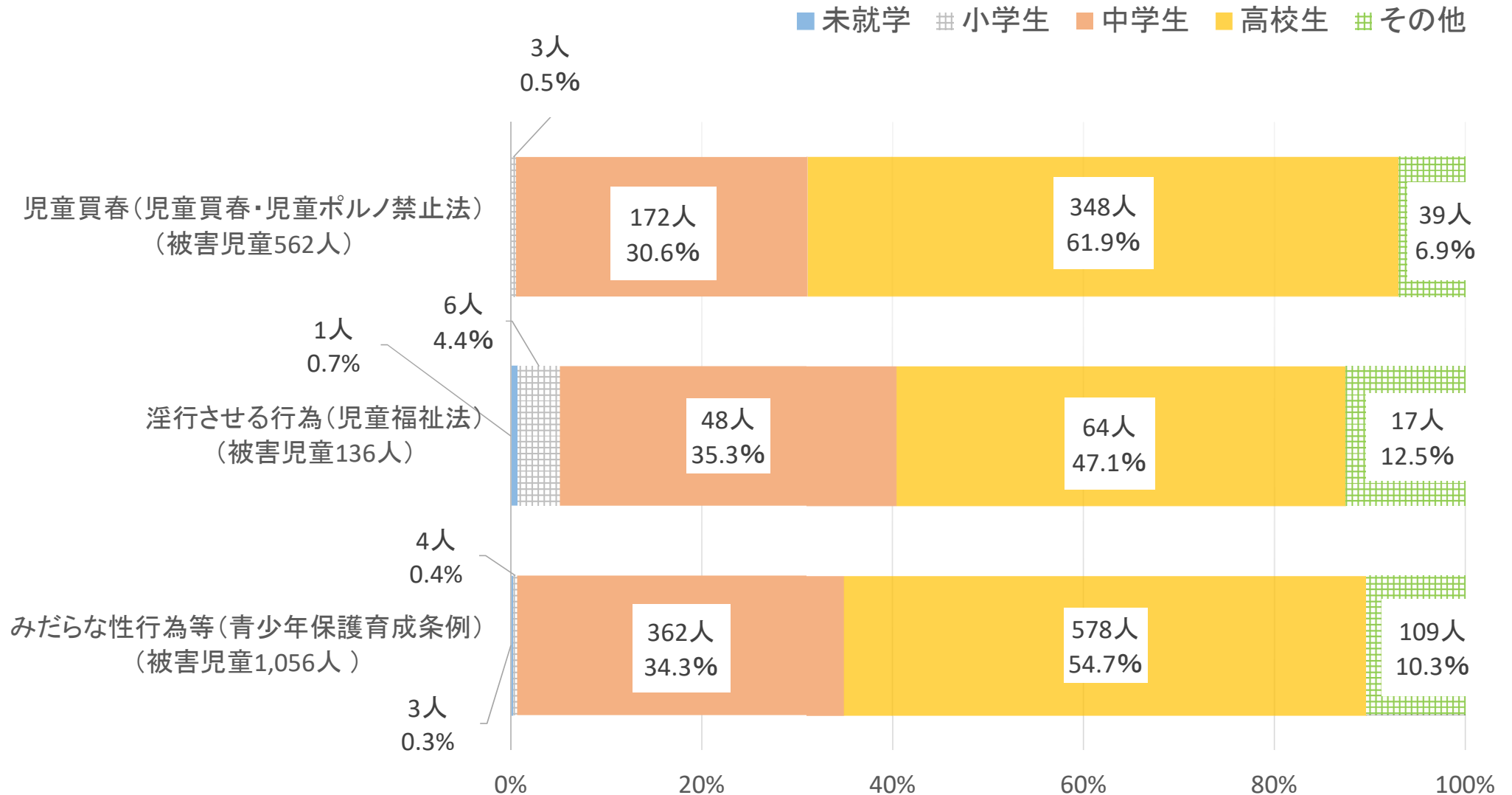
※ 児童の性的搾取等とは、児童に対する性的搾取及びその助長行為をいう。  
 ※ 児童に対する性的搾取とは、児童に対し、自己の性的好奇心を満たす目的又は自己若しくは第三者の利益を図る目的で、児童買春、児童ポルノの製造その他の児童に性的な被害を与える犯罪行為をすること及び児童の性に着目した形態の営業を行うことにより児童福祉法第60条に該当する行為をすること並びにこれらに類する行為をすることをいう。

## 【児童買春事犯等】 検挙件数・検挙人員・被害児童数の推移



令和元年における児童買春事犯等(児童買春、淫行させる行為(児童福祉法)、みだらな性行為等(青少年保護育成条例))の検挙件数・検挙人員・被害児童数は、2,629件、2,037人、1,754人で、いずれも前年比で増加した。

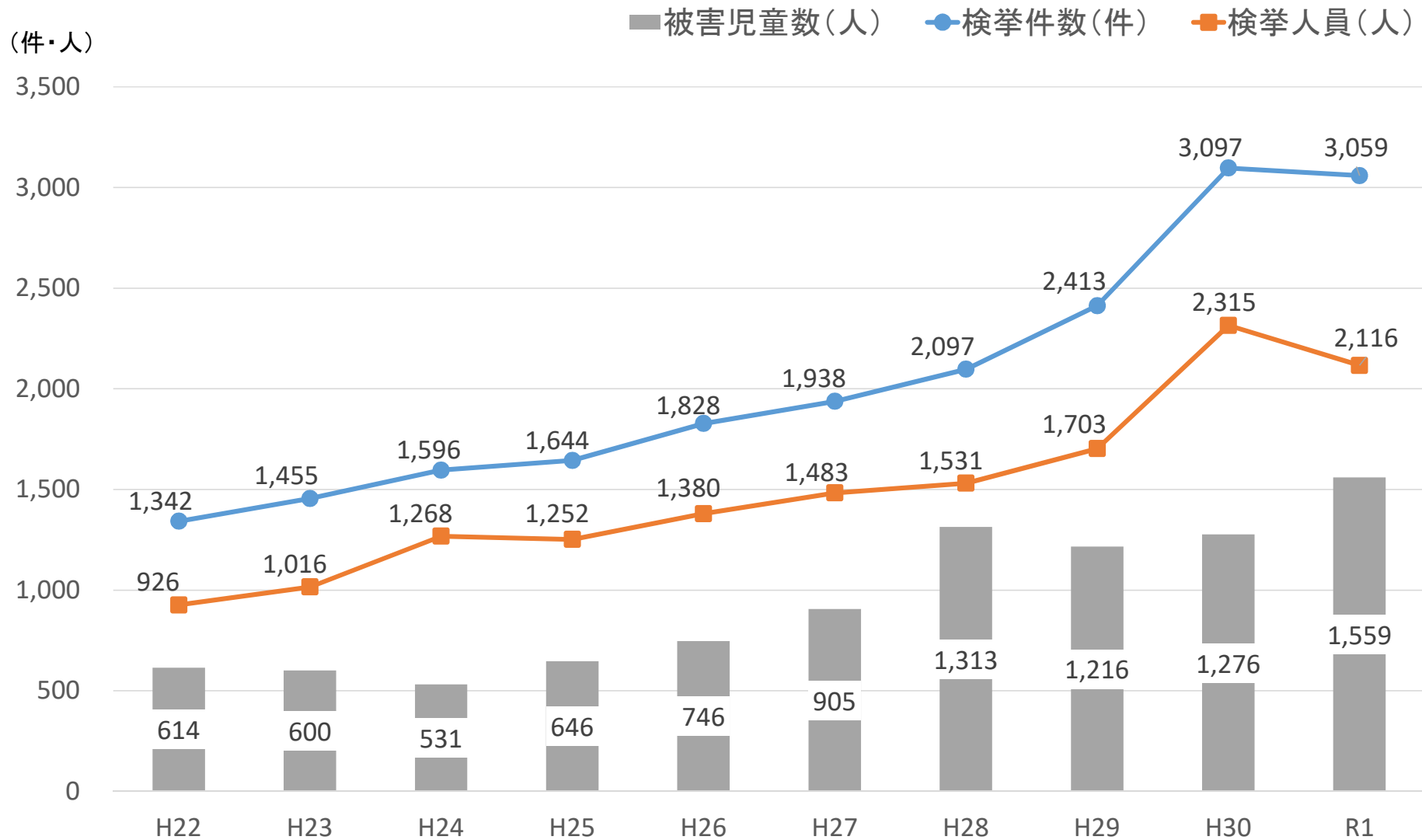
## 【児童買春事犯等】被害児童の学職別の割合



※ 構成比は、小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が必ずしも100%とは限らない。

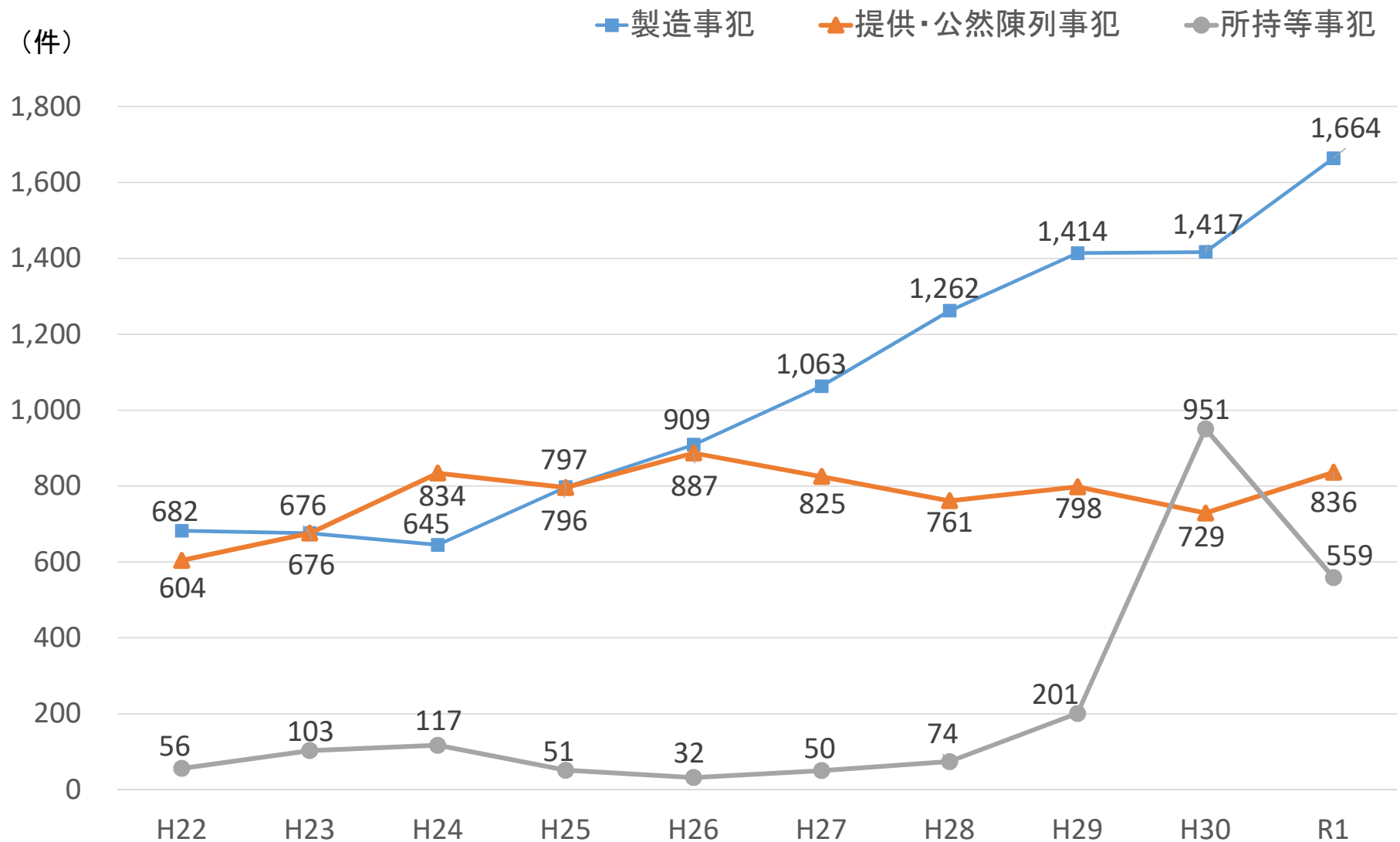
令和元年における児童買春事犯等の被害児童の学職別割合は、いずれの罪種も、前年に引き続き、高校生の被害が最多となった。

## 【児童ポルノ事犯】検挙件数・検挙人員・被害児童数の推移



令和元年における児童ポルノ事犯の検挙件数・検挙人員はそれぞれ3,059件、2,116人で、過去最多を記録した前年より減少した。被害児童数は1,559人と、前年比で283人増加し、過去最多となった。

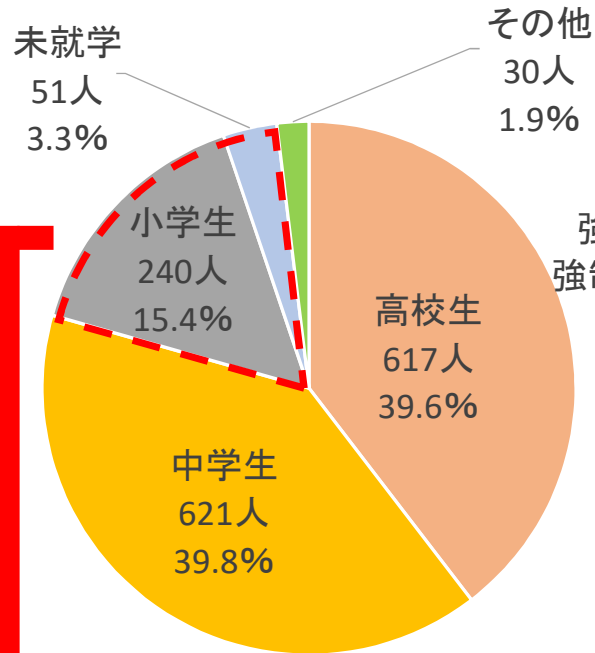
## 【児童ポルノ事犯】態様別の検挙件数の推移



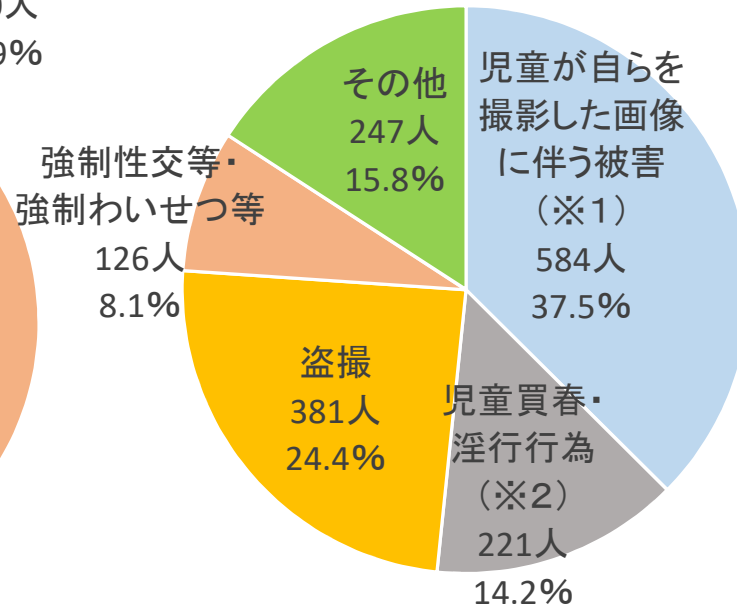
令和元年における児童ポルノ事犯の態様別の検挙件数では、全体の5割強を占める製造事犯が前年比で大幅に増加した。また、所持等事犯は前年比で大幅に減少(-392件)した。

## 【児童ポルノ事犯】 被害児童の学職別・被害態様別の割合

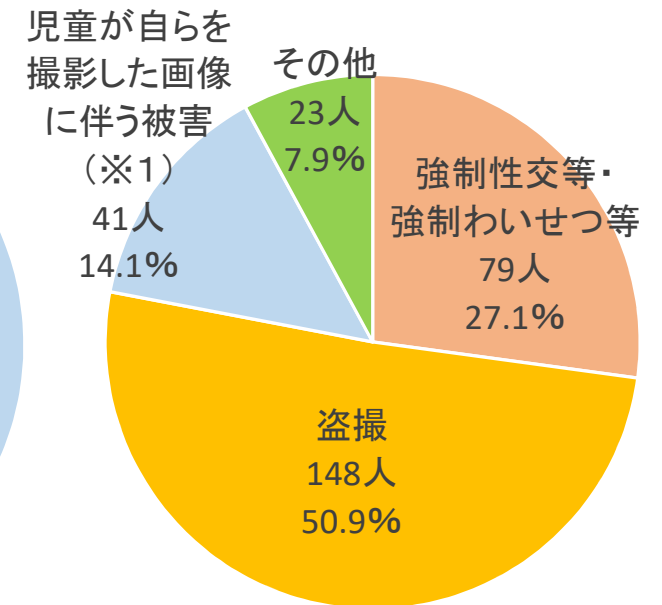
被害児童(1,559人)の学職別割合



被害児童(1,559人)の被害態様別割合



低年齢児童(291人)の被害態様別割合

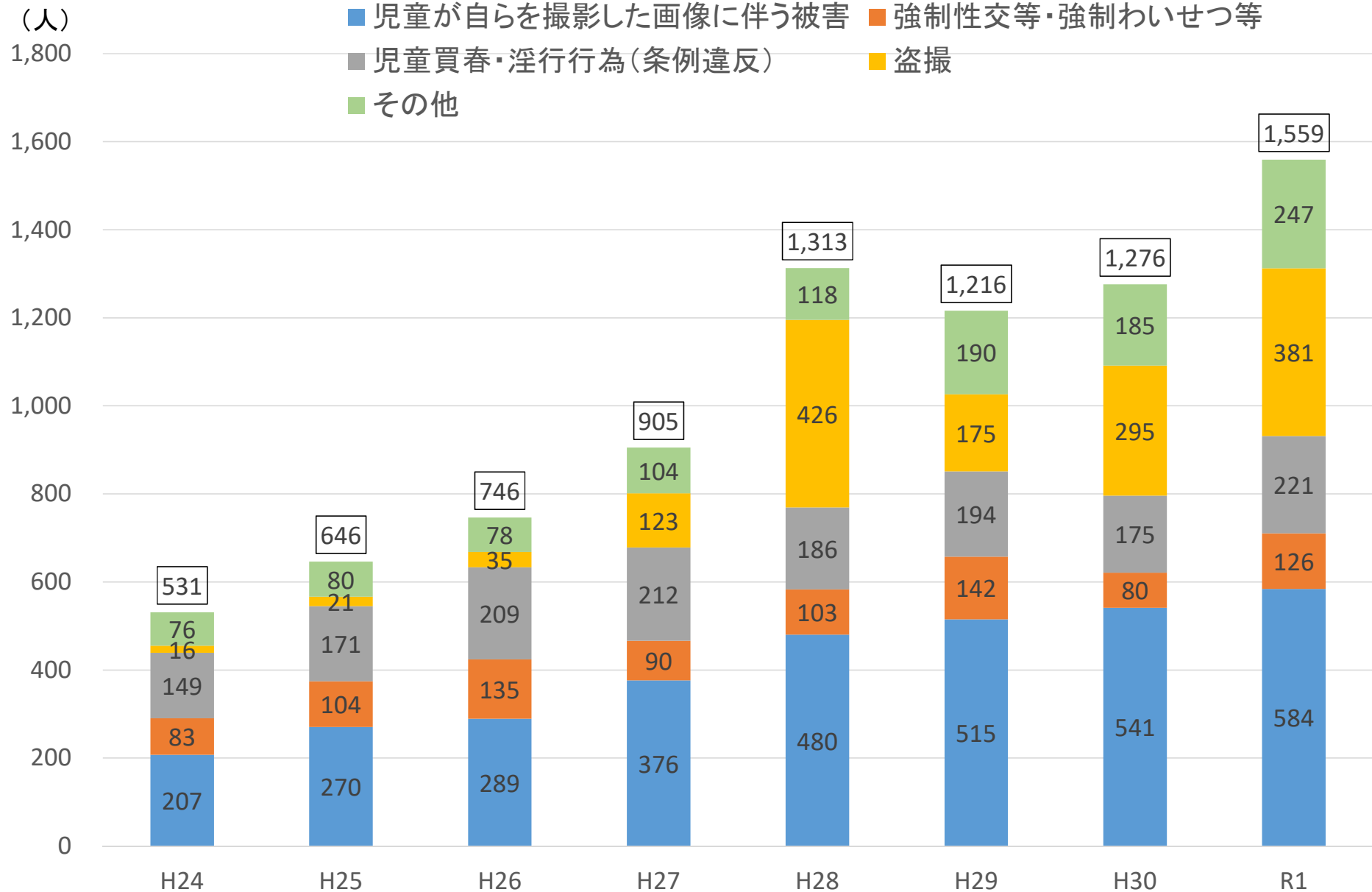


※1 「児童が自らを撮影した画像に伴う被害」は、だまされたり、脅されたりして児童が自分の裸体を撮影させられた上、メール等で送られる形態の被害をいう。

※2 「淫行行為」は、「青少年保護育成条例(淫行行為)」をいう。

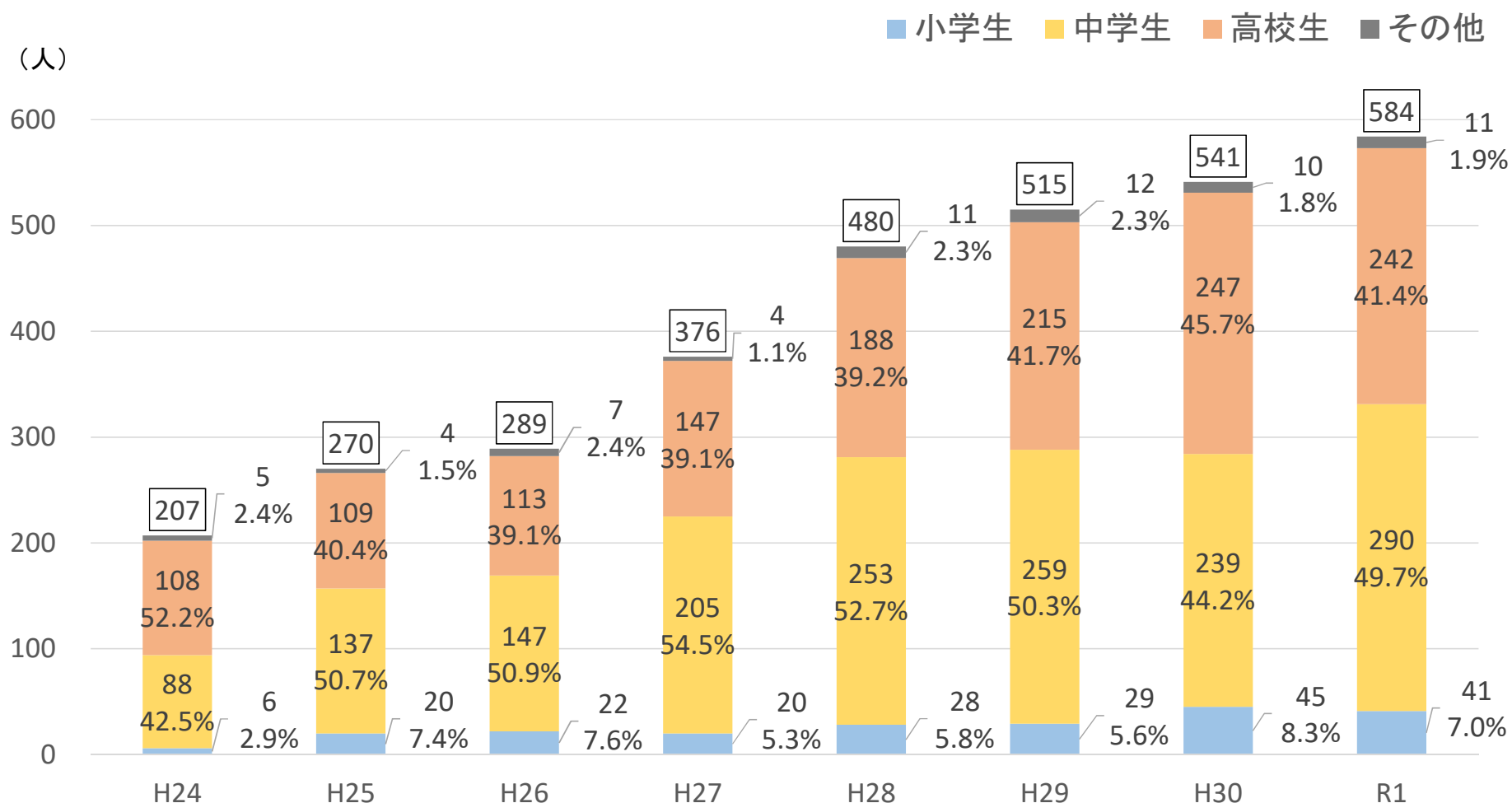
令和元年における児童ポルノ事犯の被害児童の学職別割合では、中学生が最多(前年比+184人)となり、中学生・高校生で被害児童の約8割を占める。  
被害児童の被害態様別割合では、児童が自らを撮影した画像に伴う被害が約4割を占める。  
低年齢児童の被害態様別割合では、盗撮が約5割を占める。

## 【児童ポルノ事犯】被害態様別（製造手段別）の割合



令和元年における児童ポルノ事犯の被害態様別では、児童が自らを撮影した画像に伴う被害が約4割で最多となっており、近年の増加傾向が継続している。

## 【児童ポルノ事犯】 児童が自らを撮影した画像に伴う被害に遭った児童の推移

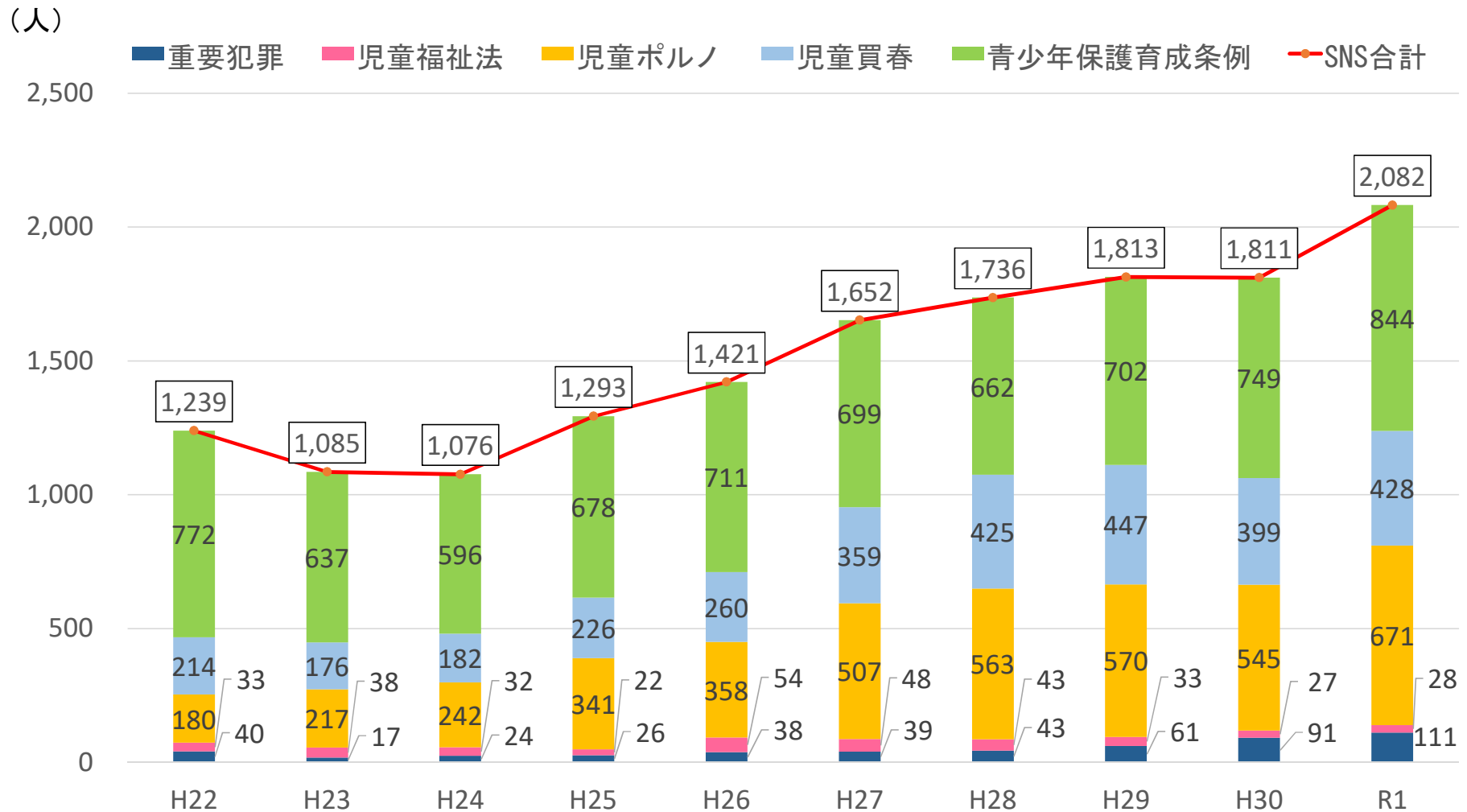


※ 構成比は、小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が必ずしも100%とは限らない。

令和元年中に「児童が自らを撮影した画像に伴う被害」に遭った児童は584人と、前年比で43人増加し、過去最多となった。

小学生及び高校生は前年比で減少したものの、中学生は前年比で増加(+51人)した。児童の学識別の割合では、中学生が約5割を占め、高校生を含めると約9割を占める。

## 【SNS】罪種別の被害児童数の推移

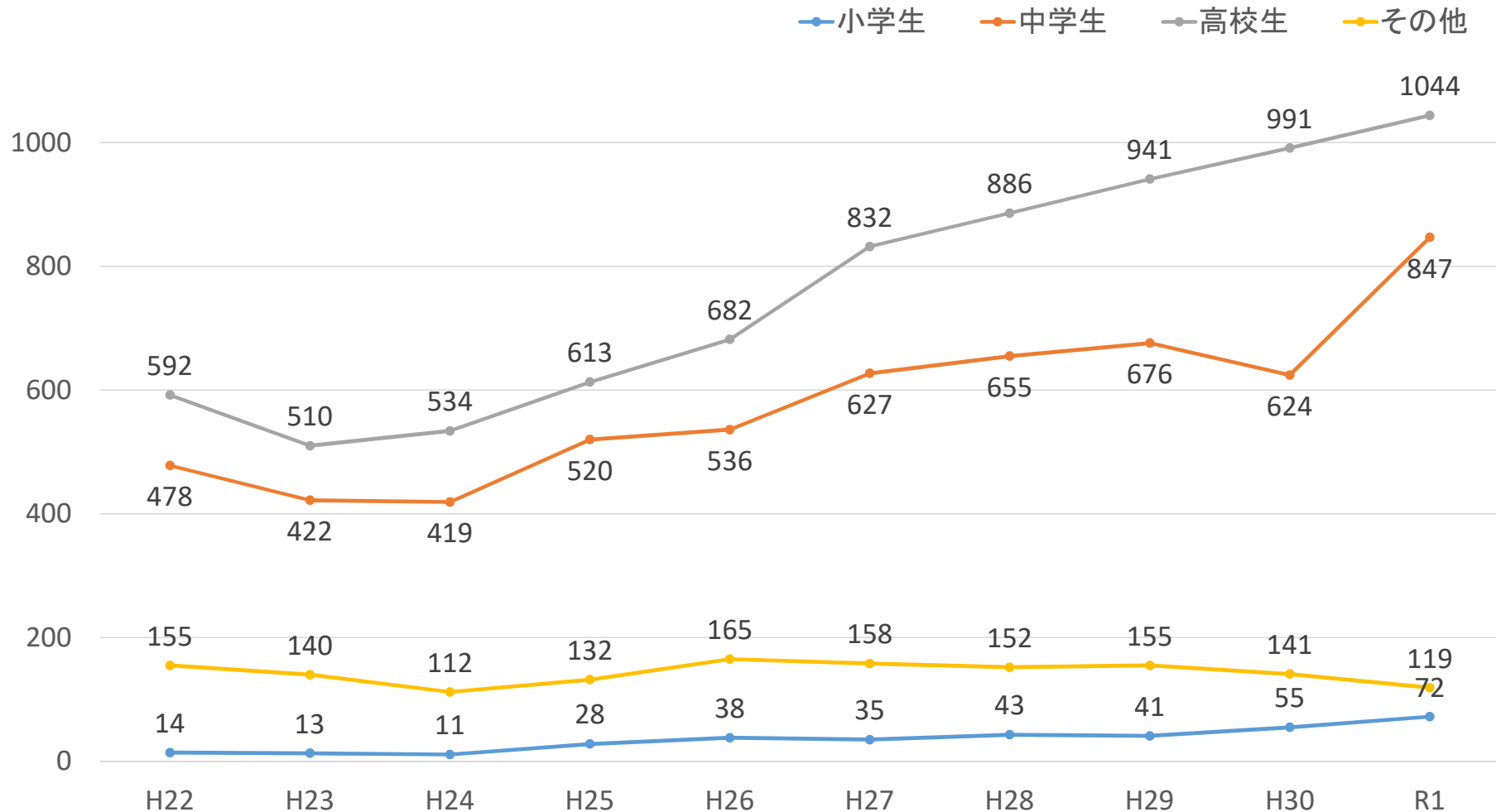


SNSに起因する事犯の被害児童数は、平成25年以降増加傾向にあり、令和元年は前年比で15.0%、過去5年間で26.0%増加し、2,082人となった。



## 【SNS】学職別の被害児童数の推移

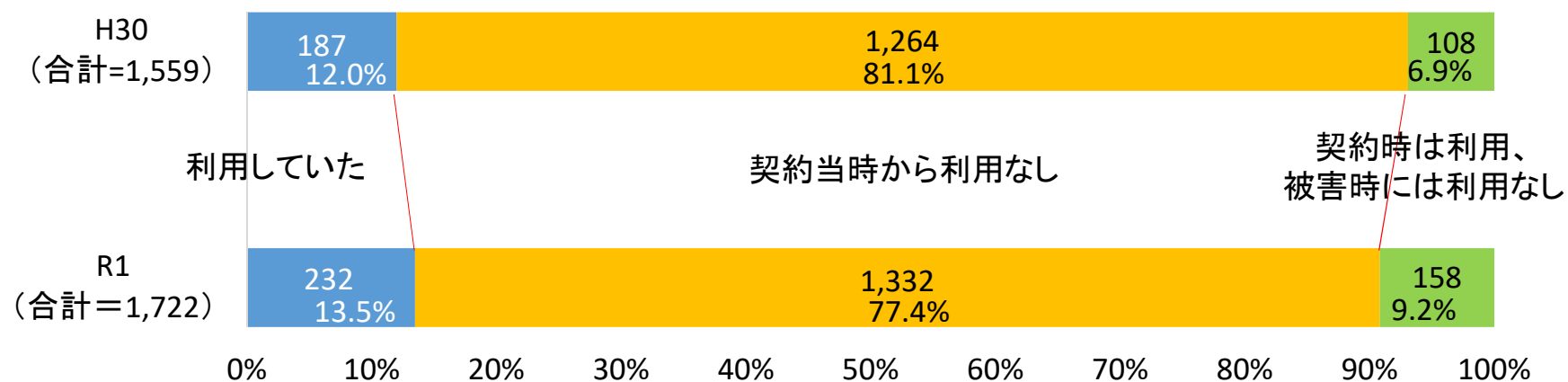
(人)



令和元年におけるSNSに起因する事犯の被害児童数を学職別で見ると、高校生と中学生で約9割を占めた。中学生は平成30年には減少したものの、令和元年は前年比で大幅に増加(+223人)した。

## 【SNS】被害児童のフィルタリングの利用状況

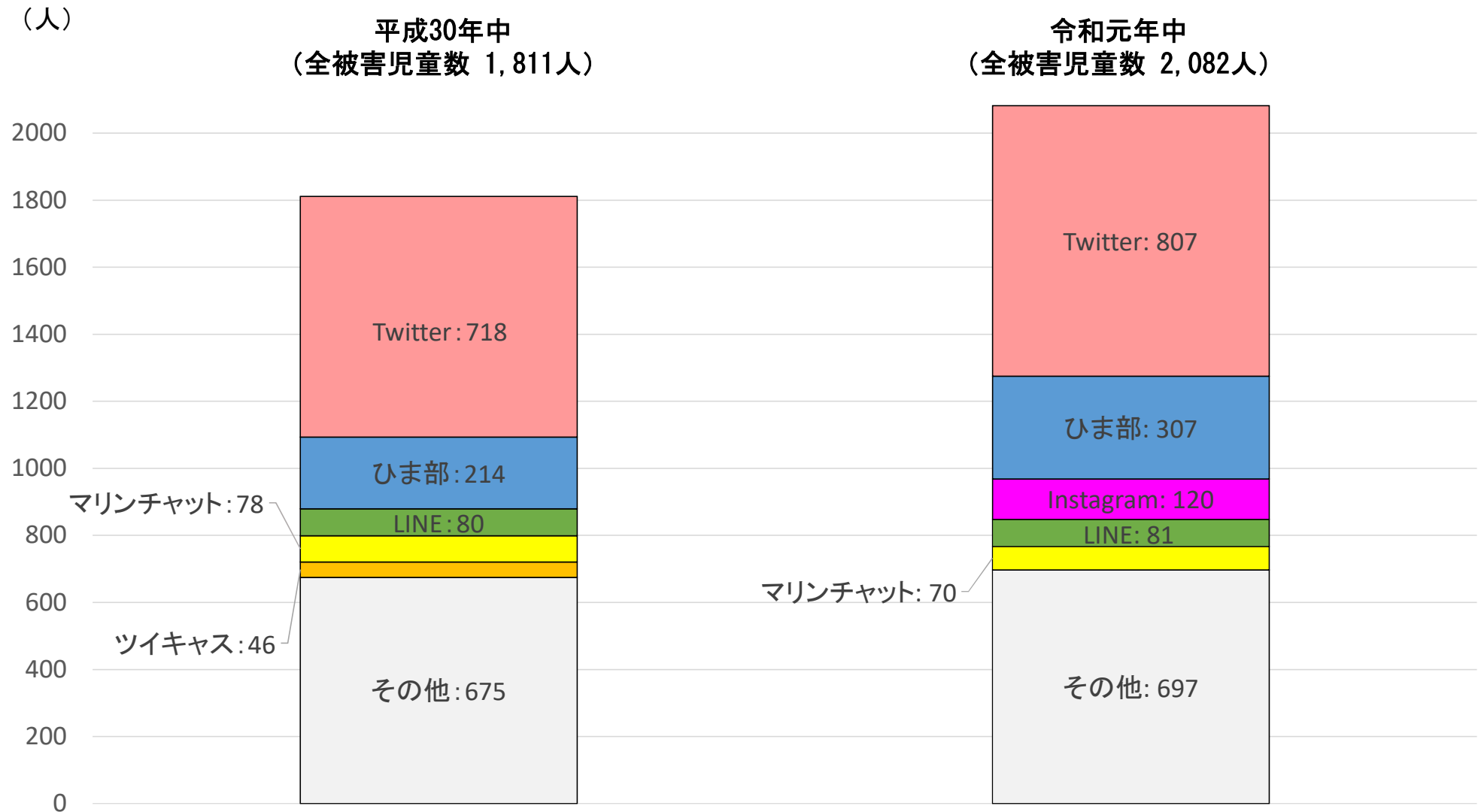
(人)



※構成比は、小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が必ずしも100%とは限らない。

令和元年におけるSNSに起因する事犯の被害児童のフィルタリングの利用状況は、フィルタリングの利用の有無が判明した被害児童のうち、9割弱が被害時に利用していない。

## 【SNS】被害児童数が多いサイト



「Twitter」に起因する事犯の被害児童数が約4割を占めるとともに、「Instagram」に起因する事犯の被害児童数が増加。